

第二期県立高等学校再編計画の概要

【平成30年度から平成34年度までの5か年計画】

平成29年11月 栃木県教育委員会

○栃木県教育委員会では、生徒数の減少など高校教育をめぐる現状と課題を踏まえ、魅力と活力ある県立高校づくりをより一層推進するため、「第二期県立高等学校再編計画」を策定しました。

○本計画は、本県教育行政の基本方向を示す「栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—」の基本施策を推進していくに当たり、その基盤となる教育環境を整備するための部門計画です。

高校教育をめぐる現状と課題

◆高校教育に対する社会の要請

- グローバル化の進展など、急速に変化し続ける社会
- 人口減少や少子高齢化の進展による経済の停滞や社会の活力低下の懸念
- 中山間地域など県の周縁部における地域を支える諸活動の担い手不足
- 高校の地域振興に果たす役割への期待の高まり

- 生徒一人一人が社会的・職業的に自立するとともに、自己実現を目指して生涯学び続けていける力を育むこと
- 主体的に社会に参画し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成すること
- 地域との連携を図りながら、郷土愛や地域貢献意識を育み、地元産業や地域社会を担う人材を育成すること
- 本県産業のバランスの良い持続的発展に向け、企業等との連携を図りながら、各産業を担う人材を育成することなどが求められています。

◆県立高校の現状と課題

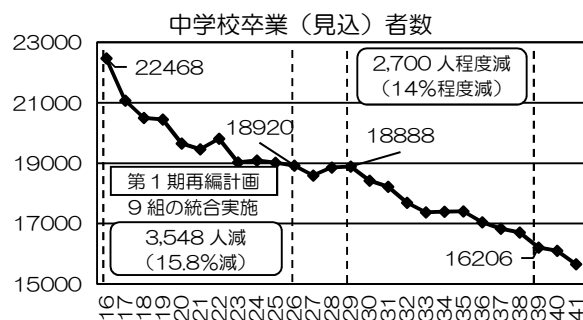
【生徒の多様化】

- 高校等への高い進学率（98%超で推移）
- 生徒の目的意識や興味・関心、進路希望、能力・適性等の多様化

- 生徒一人一人が夢の実現に向け、意欲的に高校生活を送れるよう多様な学びのニーズに応える取組の推進が求められています。

【生徒数の減少】

- 平成39年の中卒見込者数は16,200人程度（平成29年比で2,700人〔14%〕程度減）
- 学級減のみで対応すると高校の小規模化が進行
- 小規模化は、生徒同士の切磋琢磨の機会が減少するとともに、多様なニーズに応じた教育が困難になるなど、教育の質の低下に繋がる懸念



- 教育の質の維持・向上を図り、生徒が社会的に自立し、主体的に社会に参画し生きていける力を培える教育環境を確保するため、適正な学校規模の維持に努めていくことが必要です。
- 一方、高校教育の質の確保と併せて、周辺地域の子供たちの高校教育を受ける機会の確保についても配慮することが必要です。
- 生徒数減少が見込まれる中においても、生徒の興味・関心や進路希望、県民の要請や地域の期待に応える特色ある学校・学科を、各地域においてバランス良く配置できるよう努めていくことが必要です。

【定時制・通信制の役割の変化】

- 不登校経験者や高校中退経験者、特別な支援を必要とする生徒など、多様な生徒が在籍
- 働きながら高校進学を希望する中学生は若干名

- 多様な生徒のニーズに応えられる学習環境の整備や、困難を抱える生徒の自立支援の充実が求められています。

魅力と活力ある県立高校づくり

1 全日制高校の規模と配置の適正化

(1) 規模の適正化

○1学年4学級から8学級を適正規模とし、適正規模の維持が困難または将来困難となることが見込まれる学校を中心に統合することなどにより、適正な学校規模の維持に努めます。

(2) 規模の特例（特例校）

○適正規模の維持が困難または将来困難となることが見込まれる学校であっても、**県の周縁部に位置し、中山間地域など通学不便な地域**が学校周辺に広がり、**近隣に他の高校がない学校**は、特例として、1学年3学級または2学級で生徒を募集します。

○特例校では、**学校運営協議会制度を導入**するなど、地域と一体となって魅力ある学校づくりや**地域を支える人材育成**に取り組み、生徒の確保に努めます。

○入学者が募集定員を下回り、将来的にも生徒の確保が困難と見込まれる場合は、次のとおりとします。

〔3学級特例校〕地元地域とも十分に協議し、統合などを行い募集を停止するか、2学級特例校とします。

〔2学級特例校〕2学級での生徒募集開始から3年目以降、入学者が2年連続で募集定員の3分の2未満となった場合、地元地域とも十分に協議し、原則、統合などを行い募集を停止します。

【対象となる学校】

日光明峰、益子芳星、茂木、馬頭、黒羽、那須

◇実行計画

対象高校	実施年度	設置学科	再編の概要
日光明峰	H30	普通	・2学級特例校 ・学校運営協議会制度導入
馬頭	H30	普通、水産	・3学級特例校 ・学校運営協議会制度導入

・左記以外の対象校は、地域の中学生数の見込みや入学者数の状況等を見ながら特例校とする年度を決定します。

(3) 学校の統合

○各地区の生徒の減少率や、各学校の現状、今後の見通しなどを勘案し、**一部の地区で統合**を行います。

○適正規模の維持が困難と見込まれる学校や、統合により活性化が期待できる学校は統合を検討します。

○**大学進学を目指す生徒が多い普通科高校**は、ある程度大きな**学校規模の確保**に努めます。

地区 (全日制高校数)	中卒者 減少率	学級減 見込み	H34 平均学校規模 (特例校を除く)	統合の必要性
全県 (59)	約 8%	24 程度	4.9 学級	—
宇都宮 (10)	約 2%	1 程度	6.9 学級	統合の必要性はない見通し
上都賀 (7)	約 8%	4 程度	4.3 学級 (4.7 学級)	統合の必要性はない見通し
下都賀 (14)	約 8%	6 程度	4.6 学級	統合の必要性はない見通し
安足 (8)	約 15%	6 程度	4.3 学級	1 組程度の統合を行います
芳賀 (6)	約 2%	1 程度	4.3 学級 (4.8 学級)	統合の必要性はない見通し
那須 (8)	約 13%	4 程度	4.6 学級 (5.2 学級)	統合の必要性はない見通し
塩谷・南那須 (6)	約 11%	2 程度	4.5 学級 (4.8 学級)	統合の必要性はない見通し

◇実行計画

対象高校	実施年度	使用校地	再編の概要
足利 足利女子	H34※1	足利女子※2 足利	・単位制導入 ・男女共学化 ・足利女子高校の敷地に 新校舎等を整備

※1 H34年度の統合に合わせ、両校の2年生、3年生は統合新校に転学となります。

※2 主に足利女子高校の校地を使用しますが、足利高校のグラウンドや体育館も、部活動等で使用します。

(4) 男女別学校の共学化

○男女別学校の共学化は、共学校と別学校の共存を望む**県民世論にも配慮しながら、各高校や地域の実情等**に応じて行います。

・小規模化により**活力低下が懸念される別学校**は、統合、共学化します。

・男女別募集定員に**片寄りのある地区**については、共学化を行います。

◇実行計画

対象高校	実施年度	設置学科	再編の概要
足利・足利女子	H34	普通	・統合 ・単位制導入
宇都宮中央女子	H34	普通 総合家庭	・単位制導入

(5) 学科の構成と配置の適正化

- 普通系学科と職業系専門学科の割合は、中学生の希望状況等から判断し、**7：3を概ね維持**します。
- 各職業系専門学科の割合も、各産業分野のバランス良い発展等を考慮し、**現状を概ね維持**します。
- 職業系専門学科は、**学びの機会が確保**されるよう通学圏等に配慮しながら、学級減や学科改編を行います。

【普通系学科】＜普通科＞中学生の希望状況や、学校の特色等を考慮し、各地区の生徒減少に応じて学級減
 ＜普通系専門学科＞今後の在り方を検討 ＜総合学科＞各地域で選択肢となるよう維持

【職業系専門学科】＜農業科、工業科、商業科＞現在の**募集定員の割合を維持**

＜水産科、家庭科、福祉科＞現在の**募集定員を維持**。一部の総合学科に**福祉系列**導入

◇実行計画

＜普通系学科＞**16学級程度減**

＜農業科＞

対象高校	現在		学科改編後
栃木農業	農業 生物工学 農業土木 食品化学 生活科学	→ H31	植物科学 動物科学 食品科学 環境デザイン (コース制など)
小山北桜	園芸科学 造園土木	→ H32	食料環境 (コース制)

＜工業科＞

対象高校	現在		学科改編後
栃木工業	電子 情報技術	→ H31	電子情報(コース制)
足利工業	電気 電子機械	→ H32	電気システム(コース制)
那須清峰	電気 情報技術 電子機械	→ H32	電気情報(コース制) 機械制御(学科名変更)

＜商業科＞**3学級程度減**

対象高校	現在		学科改編後
足利清風	商業 情報処理	→ H33	情報処理科目設置 募集停止

＜福祉科＞

対象高校	現在		学科改編後
佐野松桜	社会福祉	→ H31	介護福祉(学科名統一)
真岡北陵	教養福祉		介護福祉(学科名統一)
矢板	社会福祉		介護福祉(学科名統一)

- ・小山城南高校総合学科の福祉に関する系列の充実(H33)
- ・黒磯南高校総合学科に福祉系列を導入(H34)

2 特色化の推進

(1) 各学校の特色化の推進

- 生徒の学び意欲や目的意識を高め、個性や能力の一層の伸長を図るため、各学校の特色化を推進します。
- 確かな学力の育成を図るため、生徒や学校の実態に応じて、**学び直しの指導**をより一層充実させます。
- 勤労観・職業観の育成を図るため、**インターンシップの充実**を図るとともに、生徒や学校の実態に応じて、普通系高校においても、**職業系専門科目を学べる類型を設置**するなど、教育課程の工夫に努めます。
- 地域社会を担う人材の育成を図るため、**地域の特性を生かした学びの機会を充実**させます。
- 学校間、学科間の連携や、**大学、企業、地域等と連携**した教育活動を推進します。
- SSH(スーパーサイエンスハイスクール)など国の支援事業の活用、単位制やコミュニティ・スクールの導入、県の支援事業などにより、特色化の推進を図ります。

(2) 単位制高校

- 興味・関心や進路希望等に応じた科目を選択し学習できる単位制を**全日制普通科を中心に導入**します。
- 多様な科目の開設**等が可能な単位制の利点を生かし、個に応じた**きめ細かな教育活動**を展開します。
- 生徒や学校の実情、地域のニーズ等を踏まえながら、特色ある教育課程の編成と運用に努めます。
- 生徒が**主体的に科目を選択し学習**することを通して**意欲や能力を高め、進路実現を図る**学校を目指します。
- 早期に目的意識を明確化し、適切な科目選択ができるように、**ガイダンス機能の充実**を図ります。

- ・**大学進学を目指す生徒が多い高校や3学級特例校**に単位制を導入します。

◇実行計画

対象高校	導入年度	設置学科	再編の概要
足利と足利女子の統合新校	H34	普通	・進学に重点
宇都宮中央女子(共学化した新校)	H34	普通・総合家庭	・進学に重点
馬頭	H30	普通・水産	・多様な学びに重点

- ・左記以外の3学級特例校については、特例校とする年度に単位制を導入します。

(3) コミュニティ・スクール

- 学校と地域が一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めるため、各高校や地域の実情等に応じて**学校運営協議会を設置**し、コミュニティ・スクールとします。
- 地域住民や保護者等の意見を学校運営や教育活動に反映させます。
- 地域ならではの特色ある学校づくりや**地域を支える人材育成**に取り組みます。

- ・特例校については、特例校とする年度にコミュニティ・スクールとします。
- ・特例校以外の高校も各高校や地域の実情等に応じてコミュニティ・スクールとすることを検討します。

◇実行計画

対象高校	設置年度	再編の概要
日光明峰	H30	2学級特例校
馬頭	H30	3学級特例校

3 定時制高校・通信制高校の規模と配置の適正化

- より**柔軟な学習時間帯**とするなど、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境等の整備や、社会的自立に向けた教育や支援の充実に努めます。
- 定時制の規模や配置については、広域での統合を伴う新たなフレックス・ハイスクールの設置ではなく、生徒のニーズや**通学の実態などを考慮**しながら、各通学圏ごとに検討します。
- 通信制については、通学しやすい環境となるよう学校の配置や協力校の設置等について研究を進めます。

- ・全日制併置の定時制は、**専用教室等の確保**に努めます。
- ・1学年2学級分の専用教室が確保できる定時制は、高まっている昼間の学習ニーズに応えるため、新たに**午後部を設置**し、**昼夜間の二部制定時制**に改編します。また、**三年間での卒業**を目指して、**他の部の授業を選択履修**することも可能とします。
- ・1学年1学級分の専用教室が確保できる定時制は、柔軟な学習時間帯とするため、夜間の4時間の授業に加え、**夕方にも2時間の授業を開設**します。このことにより、自分の**学習時間帯を**、夕方から4時間、夜間のみ4時間、夕方・夜間6時間の**3つから選択**することを可能とします。なお、1日6時間の学習を選択した場合、**三年間での卒業**も可能となります。
- ・地域の生徒の減少や生徒のニーズを踏まえ、定時制の**学級減や学科の転換**を行います。その際、普通科に転換する場合は、学校の特色に応じ、工業や商業など職業に関する科目も開設します。
- ・スクールカウンセラー等の**専門スタッフの配置や派遣**など支援・相談体制の充実に努めます。

◇実行計画

対象高校	実施年度	授業時間帯	設置学科	再編の概要
宇都宮工業	H32	午後	普通	・昼夜間の二部制定時制 ・工業技術科の1学級減
		夜間	工業技術	
鹿沼商工	H32	夕夜間	普通	・商業科から普通科へ転換 ・夕夜6時間の授業を開設
学悠館	H31	午前・午後・夜間	普通	・夜間部商業科の募集停止
足利工業	H31	夕夜間	工業技術	・夕夜6時間の授業を開設
真岡	H31	夕夜間	普通	・夕夜6時間の授業を開設

参考【県立高校全日制の地区別募集学級数】○数字はH29年度募集学級数

宇都宮	上都賀	下都賀		安足	芳賀	那須	塩谷・南那須
宇都宮⑦	鹿沼⑥	上三川④	栃木⑥	佐野④	真岡⑤	大田原⑥	矢板⑤
宇都宮東④	鹿沼東⑤	石橋⑥	栃木女子⑥	佐野東⑥	真岡女子⑤	大田原女子⑥	矢板東④
宇都宮南⑧	鹿沼南⑤	小山⑥	栃木農業⑤	佐野松桜⑥	真岡北陵⑤	黒羽④	高根沢⑤
宇都宮北⑧	鹿沼商工⑤	小山南④	栃木工業⑤	足利⑤	真岡工業④	那須拓陽⑥	さくら清修⑥
宇都宮清陵⑦	今市⑤	小山西⑤	栃木商業⑤	足利南④	益子芳星④	那須清峰⑥	烏山⑤
宇都宮女子⑦	今市工業④	小山北桜⑤	栃木翔南⑤	足利女子⑤	茂木④	那須④	馬頭④
宇都宮中央女子⑦	日光明峰④	小山城南⑤	壬生④	足利工業⑤		黒磯⑤	
宇都宮白楊⑦				足利清風⑤		黒磯南④	
宇都宮工業⑧							
宇都宮商業⑦							

＜問合せ先＞ 栃木県教育委員会事務局 総務課 高校再編推進担当
〒320-8501 宇都宮市塙田 1-1-20 TEL028-623-3364 FAX028-623-3356